

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		734-02-01	
事務事業名		建築管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2261	
担当部署名		建築住宅課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち		款	8	土木費
	施策	3	行財政運営		項	1	土木管理費
	施策の方向	4	公共施設等の適正な管理運営		目	1	土木総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	設計積算					
	目的 (どうしたいか)	設計費が予算化されていない設計依頼について、設備・構造設計等の職員では対応が出来ない内容の業務を行うため					
	手段 (事業内容)	工事に伴う設計委託業務					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,500	1,500	1,500		
決算額	事業費	604	0	—		
	特定 財源等	896	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	設計委託件数	単位	件
指標の説明	1年間で設計委託した件数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	3	3	3
実績	2	0	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	依頼案件処理率	単位	%
指標の説明	設計費が予算化されていない設計依頼のうち設計委託を行った割合		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	0	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 設計費の予算がなく、設備・構造設計・緊急対応等、職員での対応が難しい 設計依頼については設計委託することで対応している。	今後の改善内容 (令和4年度以後の事業実施への改善内容) 各課でできる限り、当初予算での対応をお願いしたい。